

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎はりきゅう学10							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	2年	2期	山本 真吾				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	基礎はり学基礎きゅう学		座学	1	10		
科目概要							
<p>経絡・経穴は、先人が診断治療のために築き上げてきた概念であり、鍼灸医学の重要な柱の一つです。また、東洋医学概論で学んだ知識を基礎として、施術部位・方法の選択を行うための基礎も学びます。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>		鍼灸師として、東洋医学的身体観・疾病観に基づき診察・施術できる能力を養うため、経絡経穴の理論をさらに深く理解し、説明できるようになる。また、東洋医学的な治療理論の原則を理解し、それに基づく治療法を説明できるようになる。					
<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>		1.各証に対する、適切な治法を選択できる。 2.すべての経穴(361穴)を言うことができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
1年次に履修した東洋医学概論、経絡経穴概論の知識							
教科書・参考書							
教科書:『新版 東洋医学概論』、東洋療法学校協会[編] 『新版 経絡経穴概論』、日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会[編]							
受講上の注意							
毎回の授業の冒頭で正経十二経の復習をします。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	治則			p285-p288	教科書 『東洋医学概論』		
第2回	治法			p288-p289	教科書 『東洋医学概論』		
第3回	治療法の概要			p298-p306	教科書 『東洋医学概論』		
第4回	経絡の概念			p150-p155	教科書 『東洋医学概論』		
第5回	経脈・経穴			p155-p157	教科書 『東洋医学概論』		
第6回	奇穴			p216-p229	教科書 『経絡経穴概論』		
第7回	奇穴			p216-p229	教科書 『経絡経穴概論』		
第8回	五俞穴・五要穴			p240-p241	教科書 『経絡経穴概論』		
第9回	『難経』六十九難			-	配布資料		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
s.yamamoto-t@nihonisen.ac.jp							